

さくらタイムス 令和7年6月号

お題は「図書館へ行こう！」です。絵本の読み聞かせには、「心の安定・言語能力の向上・豊かな想像力と感情表現・集中力アップ」などなど様々な効果があり、近年の文部科学省の調査でも「幼児期に読み聞かせをしてもらった子どもは学力が高い傾向にある」という結果が出ています。3年間で一万回以上になる絵本と紙芝居の読み聞かせは、さくら保育の根幹であり、大園長が始めた伝統です。曰く「同じように淡々と読み聞かせると、子どもは想像力をどんどん膨らませ、お話の解釈を掘り下げてゆき、その結果言葉が増えて豊かに表現できるようになるのよ」だそうです。遙か半世紀以上前に「母の声」として読み聞かせてもらったお話は、心の中で豊かな泉のような存在となり、今でも思考を表現する際のみなもととなっています。このありがたさを今の子ども達にもと、毎日全クラスを紙芝居に廻り、先生たちも一生懸命絵本を読み聞かせています。ゼロ歳児さん達が片言を発しはじめ、かわいい表現が1歳さんで始まり、2歳さんの最終ではこちらが圧倒されるほどお話してくれるようになります。この目覚ましい成長過程を毎年毎年感動しながら楽しませていただいています。

子ども達のお話大好きは、どこにいても変わりません。「毎週末に図書館へ家族全員で行って沢山借り、一週間ですべて読み切って、その中で特に気に入ったものを購入して、自宅の本棚に並べています」とか「子どもが望めば、さくらからの降園途中に図書館へ通っています」などなど、語彙力と表現力の素晴らしい卒園児の保護者さんからは素敵なお話をうかがっています。図書館は古くから変わらず私たちのためにあります。お配りしている市内図書館情報をご活用いただいて、「図書館ファミリー」となっただけであれば、ますますの素晴らしい結果とともに豊かな人生が開けてゆくと思います。お近くの図書館へぜひお出かけくださいませ。

園長 山内 香幸